

作成日：2015年 7月 6日

更新日：2020年12月14日

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

TCPLink
Enterprise Server
アクセスコンポーネント
バージョン 1.05 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」
(Ver.1.04-01→Ver.1.05-01)において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

◎「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」Ver.1.05-01 は、以下の製品に対応しています。

製品名	バージョン
TCPLink Enterprise Server 日本語 3270 エミュレータ	6.05-02～6.09-00
TCPLink Enterprise Server 日本語 5250 エミュレータ	6.05-02～6.09-00
TCPLink Enterprise Server 6680 エミュレータ	6.05-02～6.09-00
TCPLink Enterprise Server 560/20 エミュレータ	6.04-01～6.09-00
TCPLink Enterprise Server ETOS エミュレータ	6.04-01～6.09-00

◎インターフェースに「Java クラスライブラリ版」を追加しました。

◎以下の画面サイズを扱えるようにしました。

・3270 エミュレーション

32行×80桁

43行×80桁

27行×132桁

・5250 エミュレーション

27行×132桁

※アクセスコンポーネント (Java クラスライブラリ)、アクセスコントロールのみの対応です。

※上記の画面サイズを利用する場合には、以下の製品が必要です。

製品名	バージョン
TCPLink Enterprise Server 日本語 3270 エミュレータ	6.05-02、または 6.07-01～6.09-00
TCPLink Enterprise Server 日本語 5250 エミュレータ	6.05-02、または 6.07-01～6.09-00

Ver.6.05-02 の場合は、「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」Ver.1.05-01 の製品
CD-R に含まれる差分モジュールを適用する必要があります。

◎以下の OS に対応しました。

・Microsoft Windows 10

・Microsoft Windows Server 2016 (※)

※OS 標準の Web サーバー機能 (IIS) にも対応しました。

◎以下の OS を動作対象から除きました。

- ・ Microsoft Windows XP Professional
- ・ Microsoft Windows Server 2003
- ・ Microsoft Windows Server 2003 R2

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[アクセスコントロール]

- ・ GetFieldString メソッドでメモリリークが発生する。

以 上

作成日：2015年 7月 6日

更新日：2018年 9月28日

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

TCPLink
Enterprise Server
アクセスコンポーネント
バージョン 1.05 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」
(Ver.1.04-01→Ver.1.05-01)において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

◎「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」Ver.1.05-01 は、以下の製品に対応しています。

製品名	バージョン
TCPLink Enterprise Server 日本語 3270 エミュレータ	6.05-02～6.08-02
TCPLink Enterprise Server 日本語 5250 エミュレータ	6.05-02～6.08-02
TCPLink Enterprise Server 6680 エミュレータ	6.05-02～6.08-02
TCPLink Enterprise Server 560/20 エミュレータ	6.04-01～6.08-02
TCPLink Enterprise Server ETOS エミュレータ	6.04-01～6.08-02

◎インターフェースに「Java クラスライブラリ版」を追加しました。

◎以下の画面サイズを扱えるようにしました。

・3270 エミュレーション

32行×80桁

43行×80桁

27行×132桁

・5250 エミュレーション

27行×132桁

※アクセスコンポーネント (Java クラスライブラリ)、アクセスコントロールのみの対応です。

※上記の画面サイズを利用する場合には、以下の製品が必要です。

製品名	バージョン
TCPLink Enterprise Server 日本語 3270 エミュレータ	6.05-02、または 6.07-01～6.08-02
TCPLink Enterprise Server 日本語 5250 エミュレータ	6.05-02、または 6.07-01～6.08-02

Ver.6.05-02 の場合は、「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」Ver.1.05-01 の製品
CD-Rに含まれる差分モジュールを適用する必要があります。

◎以下の OS に対応しました。

・Microsoft Windows 10

・Microsoft Windows Server 2016 (※)

※OS 標準の Web サーバー機能 (IIS) にも対応しました。

◎以下の OS を動作対象から除きました。

- ・ Microsoft Windows XP Professional
- ・ Microsoft Windows Server 2003
- ・ Microsoft Windows Server 2003 R2

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[アクセスコントロール]

- ・ GetFieldString メソッドでメモリリークが発生する。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

TCPLink
Enterprise Server
アクセスコンポーネント
バージョン 1.04 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」
(Ver.1.03-02→Ver.1.04-01)において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎ 「TCPLink Enterprise Server アクセスコンポーネント」 Ver.1.04-01 をご使用になる場合は、「TCPLink Enterprise Server」 Ver.6.02-01 をご使用ください。

[アクセスコンポーネント (EJB)]

- ◎以下のアプリケーションサーバで動作確認を行いました。
 - ・サン・マイクロシステムズ株式会社
「Sun GlassFish Enterprise Server v3」
 - ・日本アイ・ビー・エム株式会社
「WebSphere Application Server 7.0 評価版」
- ※いずれもプラットフォームは Windows Server 2008 (32ビット版) です。

[アクセスコンポーネント (JCA)]

- ◎以下のアプリケーションサーバで動作確認を行いました。
 - ・サン・マイクロシステムズ株式会社
「Sun GlassFish Enterprise Server v3」
 - ・日本アイ・ビー・エム株式会社
「WebSphere Application Server 7.0 評価版」
- ※いずれもプラットフォームは Windows Server 2008 (32ビット版) です。

- ◎jp.co.cjs.TCPLink.cl.event パッケージのイベントを廃止しました。

以上